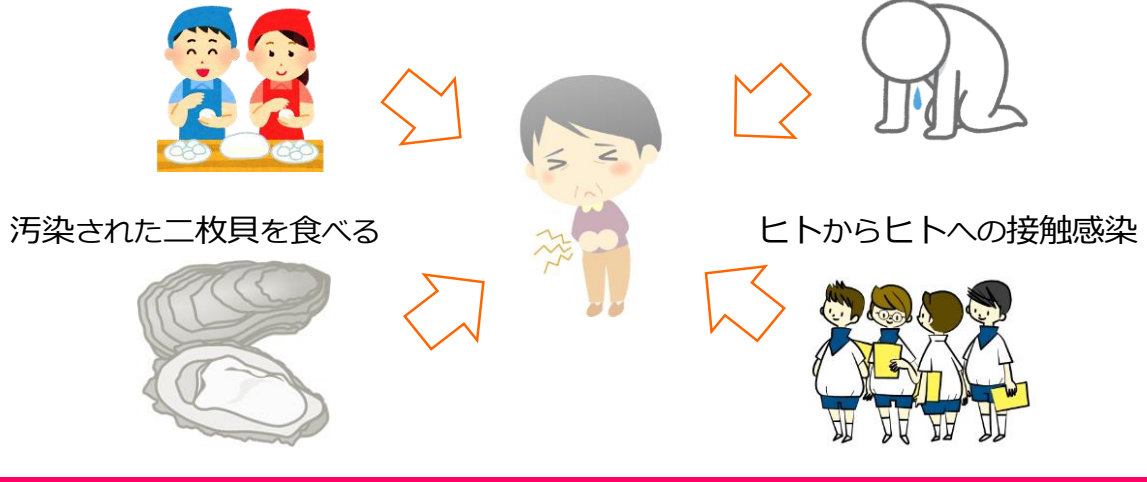


# ノロウイルス流行注意

先日、国立感染症研究所などの調査により、変異したノロウイルスがアジアを始め、日本国内でも確認されたというニュースがありました。食中毒は夏に多いイメージですが、ノロウイルスは冬に流行する傾向にあります。ノロウイルスの感染経路や感染予防対策をご紹介します。

**感染経路** ウイルスの付着した食品を食べる

ふん便や吐物からの二次感染



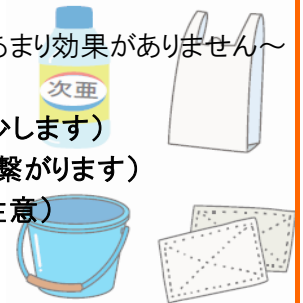
**対策・消毒**

◎ **手洗い**

- \* 調理・食事の前
- \* トイレに行った後
- \* 患者の汚物処理後など
- 各作業 各場面で確実に。

◎ **次亜塩素酸ナトリウムでの消毒**

- ～消毒用エタノールや逆性せっけんは、ノロウイルスの失効化にはあまり効果がありません～
- ◆濃度は0.1～0.02%に希釈して使用
- ◆作り置きしない(希釈した消毒液は、時間が経つと効果が減少します)
- ◆乾燥しないうちに速やかに処理(空気中に漂い、感染拡大に繋がります)
- ◆使用した器具・うがいをした場所なども消毒(金属腐食性に注意)



◎ **熱湯での消毒**

まな板や食器、ふきんやタオル、汚物の付着した衣服やリネン類は85℃以上の熱湯で1分以上の加熱が有効です。

検査方法	RT-PCR法	精密検査	遺伝子増幅を利用した検査で、結果が得られるまで2～5時間を要します。感度は95%以上で、ウイルスが1gあたり10～1万個あれば陽性となります。
	イムノクロマト法	簡易検査	抗原検査で、結果が得られるまでの時間は迅速ですが、補助的な検査です。便のウイルス量が少量の場合は、検出されない可能性があります。

検査容器は、腸内細菌用と全く異なり、専用容器となります。感染力の強いウイルスですので、採取後は冷凍保管をお願いいたします。検査容器のお届け・検体の回収に対応いたします。まずは、ご連絡下さい。

株式会社 **九州保健ラボラトリー**  
Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoko.co.jp/>